

## 令和3年度第1回花巻市スポーツ推進審議会 会議録

### 1 開催日時

令和3年11月24日（水） 午後3時00分～午後4時10分

### 2 開催場所

花巻市生涯学園都市会館（まなび学園）2階 第1中ホール

### 3 出席者

#### (1) 委員 16名

北村義剛委員（審議会会長職務代理者、花巻市スポーツ推進委員協議会会長）

石川直子委員（花巻市スポーツ推進委員協議会副会長）

佐藤智明委員（花巻市地域スポーツ普及員協議会副会長）

佐々木律夫委員（花巻市中学校体育連盟会長）

似内利正委員（審議会会長、一般財団法人花巻市体育協会会長）

関原信大委員（花巻市スポーツ少年団本部副本部長）

佐藤ユキ子委員（花巻市レクリエーション協会事務局次長）

諏訪なみ子委員（花巻市保健推進委員協議会会長）

藤井公博委員（花巻市身体障害者福祉協会会長）

佐藤隆治委員（はなまきスポーツコンベンションビューロー事務局長）

阿部久美子委員（一般社団法人花巻観光協会副会長）

狩野悦子委員（花巻商工会議所女性会副会長）

松田治樹委員（公益社団法人花巻青年会議所理事長）

似内一弘委員（公募委員）

藤井正博委員（公募委員）

高橋俊朗委員（公募委員）

#### (2) 事務局（生涯学習部スポーツ振興課） 6名

市川清志部長、鈴木直明課長、菅史課長補佐、佐々木善浩係長、小森林克弥主任、森田芽吹主事

### 4 議題

#### (1) 諮問事項

- ・花巻市スポーツ推進計画の中間見直しについて

### 5 議事録

（菅史課長補佐）

それでは、只今から、令和3年度第1回花巻市スポーツ推進審議会を開会いたします。進行は、お手元の資料の次第に従いまして進めさせていただきます。まず、はじめに市長から委員の皆さまに辞令をお渡しいたします。氏名を順にお呼びしますので、その場にご

起立いただきましてお受け取りください。

(菅史課長補佐が氏名を読み上げ、市長から各委員へ辞令書を交付)

(菅史課長補佐)

それでは、上田市長よりご挨拶を申し上げます。

(上田東一市長)

今日は、お足元の悪い中このようにお集まりいただきましてありがとうございます。そして、花巻市スポーツ推進審議会委員の委嘱を受けていただいたこと、皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。花巻東高校の活躍はすごいですね。とにかく大谷翔平選手がアメリカでMVPを取ったと、満票で取ったというニュースが流れていました。それから、その前にはコミッショナー特別表彰を受けたと。これはアメリカの名選手しか受けられないという賞、最近だとロジャー・クレメンスとかですね、そういう歴代の名選手しか受けられないのだと、その中で受け取ったということで我々市民としては本当に誇りを感じる次第だったと思います。ありがたいなと思います。そして花巻東高校の硬式野球部、明治神宮大会すごかったです。9対2になってこれはだめかなと思ったら同点になりました。佐々木麟太郎選手が昨日は5打点ですね、2塁打を取って2点入れてその次の回にはスリーランホームランを打って同点にしたということがありました。最後は、レフト前ヒットを打って2塁からホームを狙って、クロスプレーでアウトになってしまいましたが、本当に惜しいところで負けたなと思いました。負けはしたけど花巻東高校の強さを全国にまた発信したんじゃないかと、あるいは佐々木麟太郎選手に関してはあれだけ注目されて、あれだけ相手が注意をして一生懸命投げてそれを打ち返したという、本当に菊池雄星投手そして大谷翔平選手に続く大物が花巻東高校から出たなということで佐々木監督すごいなという風に思いますし、また、花巻東高校の学校としての教育がこの成果に出ているんじゃないかなと改めて感謝した次第であります。また、花巻東高校はサッカーの新人戦でも昨日県大会で優勝したという話がありました。本当にこれも素晴らしいことだと思います。そして、花巻東高校だけではなくて中学生もいろんな大会、剣道含めてですね、いろんな大会で活躍しています。スポーツの部分でみんなが元気になっているということについては大変ありがたいですし、これが子供たちの自信につながっているんだろうと思うんです。将来、そのスポーツで生きていくということは必ずしもないかもしれませんが、自分に対する自信とか、あるいは努力の大切さというのを身をもって学ぶ機会になっているんじゃないかなと思います。そこまでいかななくても、楽しむスポーツも大変大事だと思います。そういう意味でスポーツは花巻市にとって大変重要なものであるということが改めて認識できたのではないかなと思います。今回皆様にご審議いただきますのは、花巻市スポーツ推進計画の中間見直しであります。これはスポーツ基本法第10条に基づく、計画として平成29年に制定されたものでございますけれども、令和5年度までの計画でございまして、今回中間見直しということになります。いろんな事情はございます。コロナ禍においてなかなかスポーツができなかったり、しかし、少し普通の生活に戻ってきている中でもう一回スポーツを見直す必要があるということもあると思います。

そして、あるいは中学生の部活、これも活発に活動いただいておりますけれど、一方先生方の負担が非常に大きいということを考えると、先生方だけに頼るスポーツ活動でいいのかということも我々は今後も考えていかなければならない。地域におけるスポーツの活動、これももっともっと支援していかなければならないんじゃないかと思う次第でありまして、そういうことを含めての中間計画の見直しになると思います。皆さまにはぜひ忌憚のないご意見をいただきまして、子供たちのために、あるいは成人の人たちのスポーツ振興のために、皆様の知恵をお借りしたいと思う次第であります。よろしく願いいたします。

(菅史課長補佐)

ここで、市長は退席させていただきます。

本日は、委員20名中16名のご出席をいただいておりますので、花巻市スポーツ推進審議会条例第5条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しておりますので、会議が成立いたしますことをご報告申し上げます。

次に、会長をご選出していただきたいと思っております。

花巻市スポーツ推進審議会条例第4条第1項に「審議会に会長を置き、委員の互選により定める」とありますが、特に異論がなければ事務局案を提示したいと思っておりますが、いかがでしょうか。

(異議なしとの声あり)

(菅史課長補佐)

それでは、事務局案といたしましては、一般財団法人花巻市体育協会会長の似内利正様をお願いしたいと考えておりますが、委員の皆さま、ご異議ございませんか。

(異議なしとの声多数あり)

(菅史課長補佐)

それでは、似内様には会場前側の議長席にご移動いただき、一言ご挨拶をお願いできればと思います。よろしく願いいたします。

(似内利正会長)

ただいま、ご指名をいただきました、体育協会の似内でございます。どうぞよろしく願いいたします。

さて、この2年間を振り返りますと、世界中が新型コロナウイルス感染症の拡大で大変な苦勞を強いられております。ただ、日本は小康状態とは言ってもまだまだ油断を許されないと感じております。そのような中で皆様方におかれましてはスポーツを愛する心、スポーツを推進する心をもって、制約のある中でいろいろご検討、ご協力をいただいておりますことに敬意を表するところでございます。

本日は、先ほど市長からご説明のありました、中間の見直しについてということでお諮りをするようになります。ひとつ皆様方の忌憚のないご意見を伺いたいと思っております。よろ

しくお願い致します。

(菅史課長補佐)

似内会長ありがとうございました。

次に、花巻市スポーツ推進審議会条例第4条第3項に「会長に事故があるとき、又は欠けたときは、会長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する」とありますので、似内会長からその職務を代理する方をご指名いただきたいと思います。

(似内利正会長)

北村義剛委員に代理をお願いいたします。

(北村義剛委員了承)

(菅史課長補佐)

ここからは、花巻市スポーツ推進審議会条例第4条第2項に「会長は、会務を総理し、会議の議長となる」とありますので、先ほど会長に選出されました似内会長に会議の進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(似内利正会長)

それでは、花巻市スポーツ推進計画の中間見直しに関する審議に入る前に、本日の審議会に至るまでの経緯について、事務局からご説明をお願いいたします。

(鈴森直明課長)

スポーツ振興課の鈴森と申します。よろしくお願いいたします。私からは本日の審議会に至るまでの経緯についてご説明させていただきます。現在の花巻市スポーツ推進計画は平成29年の策定から5年経過しております。この間、国では平成29年3月の第2期スポーツ基本計画、それから岩手県においては令和元年に岩手県のスポーツ推進計画、そして本市においては本年の3月に第3期の花巻市の教育振興基本計画を策定しております。今年につきましては、コロナ禍ではありましたが東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、来年においては岩手県で初開催となります日本スポーツマスターズ2022岩手大会が9月に予定されており、スポーツに対する関心が高まっております。今回このような機運の高まりを契機として、また社会情勢に合わせた花巻市スポーツ推進計画の中間見直しを実施することにいたしました。本年の5月24日に花巻市市民参画・協働推進委員会に出席しまして、中間見直しに係る市民参画に係る事前評価を説明して手法は適正ということで評価をいただいているところでございます。その後、庁内の健康づくり課、あるいは教育委員会等との事務レベルでの協議を進め、本日皆様方のお手元にお配りしております素案を作成しております。今回は中間見直しということで、3つの柱であります生涯スポーツの推進、競技スポーツの推進、大規模スポーツ大会の開催というこの大きな三本の柱につきましては変更いたしません、この柱の中でこれから取り組んでいくべき内容について委員皆様方が日頃お考えになっていることをお聞かせいただければと思

っております。ご覧のとおり、この計画は今後の基本的方向性を示す内容でありますので、その観点でのご意見をいただければと思っております。それから、せっかくの審議会でもありますので委員の皆様方がご質問なさって、そして、それに対して事務局がお応えするというような形式ではなくて、皆様方のお考えなりお知恵を、ぜひこの場をお借りしましてお聞かせいただくような内容での審議会にしたいと思っておりますので、ご協力のほどお願いしたいと思います。最後になりますけれども、本日は市長からの諮問によりこの審議会を開催し審議いただくということでございますので、それも併せてよろしくお願いたします。私からの経過説明については以上でございます。

(似内利正会長)

策定経過についての説明ありがとうございました。

それでは、花巻市スポーツ推進計画について審議に入ります。

花巻市スポーツ推進計画の中間見直し（案）の概要について事務局から説明をお願いいたします。

(佐々木善浩係長)

スポーツ振興課の佐々木と申します。よろしくお願いたします。私から今回の中間見直しに関する内容についてご説明させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

本日の資料の確認でございます。既に各委員の皆様には事前に資料を送付しておりましたのでご覧いただいているものと思っておりますが、もしお手元がない場合はお声掛けいただければと思います。今回の中間見直しによりまして加えた内容、それから修正あるいは削除した内容を中心に説明させていただきたいと思っております。資料につきましては、赤い文字が今回追加の内容としており、青い文字に二重取消線の部分が削除という内容になっております。それでは、資料の順に沿って説明させていただきます。

資料1 ページの1 計画策定の趣旨については「推進計画を策定します」とありますが、平成29年度に策定されておりますので、その内容を追記しております。2 計画の性格・位置づけについては「花巻市まちづくり総合計画」の政策目標の実現に向け、としておりましたが、関連する計画と連携していく個別計画であるため、「花巻市教育振興基本計画」と「健康はなまき21プラン」などの関連する計画と連携する、と追記しております。

資料は2 ページに移ります。上段には、今回の中間見直しを行う理由として、3 計画の中間見直し、を追加しております。次の4 計画の期間については「本年3月に策定された「第3期花巻市教育振興基本計画」において子どものスポーツ振興に関する取り組みが計画されていることから、その内容の整合性を図るとともに目標終期を統一するため、中間見直しにより、計画期間を令和7年度まで延長する」との内容を追加しております。また、下の表においては、計画延長の表記や、関連計画である国のスポーツ基本計画や県の計画の推移、花巻市教育振興基本計画の推移を追加しております。

資料は6 ページに移ります。「第3章今後7年間に取り組む施策」としておりましたが、「今後7年間に」という内容を「計画期間における現状と」に修正しております。次に、1 生涯スポーツの推進の成果指標ですが、令和2年度の中間実績値を追加したほか、その

実績値の根拠についても追加しております。

資料7ページに進みます。イ子どもの体力向上の推進では、部活動改革の現状と課題として「また、文部科学省の「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」において、中学校における休日の部活動の段階的な地域移行などの方向性が示されていることから、地域移行に関する対応が課題となってきます」の内容を追加しております。次に、施策の3つめ、子どもを対象にしたスポーツ機会の充実について、先ほど追加した部活動改革の現状と課題に対し「また、中学校の部活動改革に関する国や県の動向を注視し、市内中学生の部活動のあるべき姿について、教育委員会や総合型地域スポーツクラブなど関係機関と連携して対応していきます」という内容を追加しております。

資料は8ページに進みます。②若い世代や中高年世代のスポーツの推進の施策について、健康づくり課と協議した内容として「また、保健分野と連携し、生活習慣病の発生予防と重症化予防を目的とした運動・スポーツの推進に努めます」と追加しました。

資料9ページに進みます。中段②ニュースポーツ等の普及の施策にあるニュースポーツ研修会・大会の実施について「スポーツ推進委員及び地域スポーツ普及員と連携して」としておりましたが、ここに地域コミュニティ会議を追加しております。また、施策に「ニュースポーツ普及の環境づくり」の項目を追加し、「今後普及すべき新たな種目を選抜し、その種目の実施に必要な用具や実施会場の整備など、新しい種目の普及に向けた環境づくりに努めます」と追加しております。

資料は11ページに進みます。(4)スポーツ施設の整備充実の①特色あるスポーツ施設の利用促進の現状・課題について、現計画では「特色ある施設の有効活用が課題」としておりましたが、現状は十分な活用がなされているため、記載内容を加除修正しております。また、計画策定から今回の中間見直しまでの期間における主な施設改修実績を新たに追加しております。また、施策の2つめ「既存施設の計画的改修及び修繕整備」では、計画的な改修及び修繕整備を進めるにあたり、定期的な点検を行うことを追記しております。施策の3つめ「誰でも利用しやすい施設運営」では、施設使用料の徴収について、近年普及が進んでいる電子決済の導入を進め、利用者の利便性の向上を図ることを追加しております。

資料12ページに進みます。2競技スポーツの推進の成果指標については、先ほどと同様に令和2年度の中間実績値を追加しております。なお、目標121件に対し実績は12件と非常に少ない値となっておりますが、これは追加記載のとおり、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う全国大会の中止の影響によるものです。(1)競技力の向上の①指導者養成や選手強化への支援の現状・課題には「また、スポーツ指導者が多忙化しており、スポーツ指導への支障が出ているため、競技力の向上に取り組むために、スポーツ指導者の育成が必要です」という内容を追加しております。②ジュニアアスリートの育成支援の現状・課題において、花巻市からトップアスリートの輩出を目指すイーハトーブ花巻キッズアスリート研修会の実施を記載しておりましたが、事業終了に伴い、その内容を削除しております。13ページの施策では、同様に研修会の内容を削除し、県のスーパーキッズ発掘育成事業と連携することと、ジュニア世代が自分に適する競技種目を見つける「スポーツ能力測定会」を実施する内容を追加しております。

資料は14ページに移ります。3大規模スポーツ大会の開催の成果指標については、同じ

く令和2年度の間の実績値を追加しており、目標に対する実績値が低い理由についても先ほどと同様です。

15ページに進みます。②大規模大会・合宿の誘致の施策では、今年度以降の主な大規模スポーツ開催予定として、来年度の東北総合体育大会ボート競技と日本スポーツマスターズ2022岩手大会、令和5年度の東北総合体育大会を追加しております。④スポーツイベント・大会情報の提供・発信の施策には、既に取り組んできておりますが、地域にゆかりのある選手が世界大会等に出場する際のコミュニティライブサイトの開催により、市民が一体となって応援や観戦ができる環境づくりについて追加しております。

16ページに進みます。⑤広域的な連携によるスポーツ大会・合宿の誘致推進の施策について、平成29年度に設立された「いわてスポーツコミッション」と連携して大会誘致等に取り組む内容を追加しております。

資料17ページには主な事業計画を掲載しておりますが、1生涯スポーツの推進では、ニコニコ元気っ子事業が終了しているため、削除しております。18ページの2競技スポーツの推進では「イーハトーブ花巻キッズアスリート研修会の支援等」を削除し「県のスーパーキッズ発掘育成事業との連携、スポーツ能力測定会開催等」を追記しております。3大規模スポーツ大会の開催では、先ほど説明のとおり、表の下に今後の主な大規模スポーツ開催予定を追加しております。

以下、資料編については加除修正はございません。

資料30ページに移りまして、これまで審議会委員名簿を掲載しておりましたが、今回の中間見直しに伴い、計画策定の委員名簿と中間見直しの委員名簿と分けて掲載することといたします。

最後の32ページでは計画の策定経過を記載しておりましたが、赤文字のとおり、今回の中間見直しの経過を追加する予定でございます。

以上、推進計画の中間見直し案の説明とさせていただきますので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

(似内利正会長)

事務局からの説明が終わりました。

それでは、本計画の中間見直しによる修正内容を含め、中間見直し(案)へのご質問、ご意見を伺います。本計画は第1章から第5章までありますので、順を追って伺って参りたいと思います。

初めに第1章「計画の策定にあたって」と第2章「目指す将来像と基本目標」は関連がございますので一括で考えたいと思います。

何かご質問、ご意見はございませんか。

(似内一弘委員)

公募委員の似内です。意見質問というよりも考え方ですけれども、2ページの計画の期間についてです。花巻市のスポーツ推進計画が今回見直すということですが、国が第3期のスポーツ基本計画を策定しているところです。今スポーツ庁のほうで議題等も作って審議しているところですが、スポーツ推進計画、国のスポーツ基本計画を関連

計画としているのであれば、スポーツ推進計画も令和3年度の間見直しとして、ではなくて、もし可能であるならば、令和4年度と整合性を持たせてもいいのかなと思っております。ただこれは市の方針ですので、意見として述べさせていただきますと思います。

(似内利正会長)

はい、ありがとうございました。ご意見をいただきましたが、これについて事務局の方からございましたらお願いします。

(鈴木直明課長)

似内委員、ご意見ありがとうございました。それにつきましては、ご意見として承りますが、市とすれば当初の予定どおり1度中間見直しをしたいという趣旨で今回お集まりいただいたものでございますので、このままで進めさせていただきたいと思っております。

(似内会長)

似内委員さん、よろしいでしょうか。

(似内委員)

はい。

(似内利正会長)

ありがとうございました。その他ございましたらお願いいたします。

(佐藤智明委員)

スポーツ普及委員の佐藤と申します。2ページの「日本スポーツマスターズ2022」の岩手大会について、先ほど9月とご説明がありました。ソフトボールとバレーボールが花巻の会場になるのでしょうか。詳しく聞きたいと思っております。

(佐々木善浩係長)

はい、回答させていただきます。9月に開催予定はその通りでございます。花巻市はバレーボール、ソフトボールで佐藤委員の仰るとおりでございます。バレーボールが総合体育館、市民体育館、石鳥谷体育館の3会場で行う予定で、開会式は総合体育館となっております。ソフトボールは石鳥谷のふれあい運動公園の会場で実施予定でございます。なお、バレーボールに関しては、紫波町、矢巾町の会場も合わせて実施する予定でございますので、ソフトボールのみ単会場の花巻市開催でございます。

(似内利正会長)

佐藤委員さん、ありがとうございました。このほかございましたらお願いします。

(似内利正会長)

なければ「第3章 計画期間における現状と取り組む施策」について、ご質問、ご意見

ございませんか。

(佐々木律夫委員)

中体連の佐々木でございます。よろしくお願いたします。7ページの「子どもの体力向上の推進（小学生～中学生）」の赤字で追記された部分で「休日の部活動の段階的な地域移行（令和5年度以降実施）」と示されております。今中学校は、ご存じのとおり部活動は任意加入となっておりますので、必ずしも部活動に加入しなくてもよいという方向で進んでいるところであります。本校でもですね、部活動に加入しないで地域のスポーツクラブ等に通っている生徒たちがいます。そういったところでこれから段階的にそういう風になっていくのだろうと思えますけれども、現在のところ何かそういったところで目処が立っているだとか、あるいは総合型地域スポーツクラブ等にも関わってくるのかと子供たちの多様な学びの意向を受けて、市はどういう方向に向かっていくのかというところを、もし少し分かればお聞かせいただければと思っております。

(似内利正会長)

事務局お願いします。

(佐々木善浩係長)

はい、仰るとおり令和5年度に向けてということでは示されているところですが、現段階ではまだ具体的ではなく、どのように動くのか、スポーツ側が動くのか、学校か、あるいは教育委員会が主体となるのか、そういった部分も含めてまだ不透明なところが多々ございます。総合型地域スポーツクラブも充実や拡大など、そういった部分に向けて今年度の話し合いで出てきております。そういった総合型を活用して地域移行という話はでているのですが、やはりまた具体性に欠けるところがございまして、計画にも記載したとおり教育委員会、総合型地域スポーツクラブ等と連携して5年度に向けておそらく来年度、もうすこし具体的な方向性が出てくるのではないかなと思ひまして、その中身が出てきてからもう少し踏み込んで検討して参りたいと思っております。併せて、中総体ですとか大会の關係の運営、それとスポーツクラブとの関連、部活動の指導の関連、こういった部分でまだ統一的な検討ができない段階にありますので、この計画期間にぜひ検討していきたいという意味で記載したところでございます。

(似内利正会長)

佐々木委員さんよろしいでしょうか。

(佐々木律夫委員)

はい、ありがとうございます。

(似内利正会長)

その他ございましたらお伺いします。

(阿部久美子委員)

観光協会から来ました阿部久美子と申します。スポーツと全く縁のない生活をしている者から質問なんですけど、令和7年度の「日頃からスポーツに取り組んでいる人の割合」について65パーセントまでと目標を立てておりましたが、どうやってここまで引き上げていくのか、根拠があれば教えていただきたいと思えます。

(似内利正会長)

はい、事務局お願いします。

(佐々木善浩係長)

はい、ご質問ありがとうございます。65パーセントというのは確かに高い数値だと考えております。ただ、この65パーセントというのは国のスポーツ基本計画の目標値と同じ値でして、更には今年の3月に策定された市の教育振興基本計画も同じ数字だとところで記載のとおりでございます。この達成に向けましては、アンケートの結果によって44.5%から49.0%に上がっていることは確かかなところでございますが、もっと実は潜在的に運動しているのではないかというのは健康づくり課からも話がでております。どういった形で実態の数字を抑えていったらいいのかというところで、今スポーツタウンというスマートフォンのアプリがありまして、そういったものを皆さんが活用していただければ、より実態の数字に近づけるのではないかとところで、この目標の56.7%、昨年度の中間目標でもそれに近い数字が実際あるのではないかと当課では捉えております。ですので、その底上げをすることも考えていかなければならないのですが、実態の数字をもう少ししっかりと捉えていけば、本当は50%を超えていたりということになるのではないのかということで、本当にスポーツをしているのか動いていないのか、運動していないのかというところの数字を把握しながら目標に近づけていきたいと考えてございます。以上でございます。

(似内利正会長)

繰り返しませんが、阿部委員さんよろしいですか。

(阿部久美子委員)

はい、ありがとうございます。

(似内利正会長)

ありがとうございます。その他ございましたらお願いします。

(藤井公博委員)

障がい者福祉協会の藤井でございます。中間見直しの中でも、高齢者・障がい者スポーツの推進をテーマとしていただきありがとうございます。特にこの中で疑問を感じているのは、障がい者スポーツの機会をどうつくるか、あるいは普及の環境づくりなどは、当然のことですがそれに携わっている我々自身の課題だと捉えております。特にニュースポ-

ツの普及のところでいろいろお話をしたいのですが、いま県内で障がい者スポーツで1番普及しているのが卓球バレーという競技です。これは花巻では一部の団体が頑張っておりますけれども、県内で一つの大会をやりますと、1チーム6人ですが30チームとか50チームとか平気で集まってきます。これらの現状を含めてですね、それぞれテーマは受け止めますので、ぜひ今日おいでになっている北村さんにも県の障がい者スポーツ協会の支援もいろいろやっていただいておりますし、今日はもちろん審議会委員のメンバーにはおりませんが、今年も本当は三重で「とこわか国体」それから障がい者スポーツ大会があったのですが毎年障がい者全国大会の団長を私がやって総監督はついこないだまで進学校の副校長をやっておりました及川先生がずっと総監督で行っていただいておりますし、障がい者スポーツに関わっているリーダーの方々が市内にもたくさんおいでになっております。それらの方々に声をかけてニュースポーツの普及だとか障がい者スポーツの集まりだとか、環境整備だとか、これは本当に私自身の仕事だと思っておりますけれども、これからはぜひ行政の皆様とも日常的に打ち合わせをさせていただいて、私が言うのもおかしいのですが、県内の障がい者スポーツの行政単位の協会が何か所かもってきておりますので、花巻市にもぜひ障がい者スポーツ協会の立ち上げを頑張っていきたいと思っておりますので、ぜひご協力をお願いすると同時に、この推進計画がもっと前進するように努力いたしますのでご協力をお願いいたします。

(似内利正会長)

藤井委員さんありがとうございました。これに関して何かございましたら。よろしいですか。

(鈴森直明課長)

この場に北村さんがいらっしゃっているので、北村委員から意見を頂ければと思います。

(北村義剛委員)

はい。いま藤井さんからニュースポーツに関する意見がありましたが、全くそのとおりでと思います。普段感じているのは、我々スポーツ推進委員協議会は何をするべきかというところで、やっぱり先ほど言われた藤井さんの障がい者協会との連携、そしてどうやって進めていくかというところも課題かなと、そろそろやらなきゃならないことなのかなと感じております。

(似内利正会長)

北村委員さんありがとうございました。それではその他ございましたら。

(諏訪なみ子委員)

保健推進委員とはちょっと関係ないことなのですが、中学校の部活動について、私の孫も今6年生で中学に上がるわけですが、スポ少と学校のクラブ活動の比率について、重要性というか、現在バレーボールをやっているんですけども、中学校に上がるとバレーボールがなくて地域外の中学校に行かないとできない、それなのでスポ少だったらできる、

という話を聞いております。それで、学校のクラブの比率とスポ少の活動の内容の比率はどのように取るべきなのか、また、これは仕方がないことなのか、クラブがないから違うことをやらなければいけないものなのか、ちょっと今悩んでいるようです。そのことについて、中学校の先生方の意見とか地域のスポーツの活動についてお伺いしたいと思います。

(似内利正会長)

はい、ありがとうございました。佐々木委員さんどうですか。

(佐々木律夫委員)

はい。本校の話になるのかもしれませんが、確かに小学校の時にやっていたスポーツが中学校に上がると部活動になる、ということは本校に限らず多くの学校で抱えている問題だろうと思っております。そういった中で、一つは先ほどお話しがあった部活動が任意加入になったということについては、学校の部活動には入らないけれども、例えば市あるいは民間でやっているバレーボールのクラブチームがあると、そこにいって活動する。本校にも実はバスケットボール部はないのですが、バスケットを小学校からやってきたのでやりたいという子に関しては、民間のスポーツ団体のほうに入って所属して活動しているという生徒もおります。先ほどお話ししたとおり総合型地域スポーツクラブとか競技団体、民間団体のクラブ活動に所属して活動しているということが今後、この話し合いをもとに進められていくのではないかなと思っております。そうすると学校の部活動というやり方については大きく変わってくるだろうと思っております。今すぐということとはございませんが、そういった環境が整えば子供たちがやりたいスポーツを学校の部活動の種目になくてもできる、という環境が整ってくるだろう、これが今日の話し合いのなかの一つではないかと思っております。来年上がってくるといいうことになる、即答はできませんが、今そういったことで動き出していくということが現状かなと思っております。

(似内利正会長)

佐々木委員さんありがとうございました。諏訪委員さんよろしいでしょうか。その他ございましたら。

(高橋俊朗委員)

公募委員の高橋と申します。色々お話し伺っている中で、例えばニュースポーツで私たちが遊んだりとかですね、チャレンジする機会ってあるのですが、後はいわゆるメジャースポーツと言われる部分とそれ以外の競技の部分で圧倒的に他の競技を知らないケースが多いと思うんです。例えばニュースポーツも名前は知っているけどルールとかどういう形かというのがわからないケースが非常に多いと私自身も感じているので、例えばそれを市の方でこういう競技ですよ、というのを、例えば市や体協さんのホームページとかSNSを使ったりして、こんなスポーツだっというのが見れると非常にわかりやすいと思うんですよ。それが、道具がなければできないものなのか、それとも道具は貸していただける形で購入していただけるのかということも含めてやると、非常にとっかかりやすいのではないのかと思っております。たとえば、競技のすごさとかですね、素晴らしさというのをそこで

見てまた実際に見ていただく、本物に触れていただくという機会を作っていただければ更にスポーツを推進していけるのではないのかと思っています。ぜひ、そういった露出の場を作っていただければと思っています。

(似内利正会長)

高橋委員さんからは、いわゆるご質問等、ご意見も添えてお話がありましたが、関連して事務局で何かございましたらお願いしたいのですが。

(鈴木直明課長)

はい。ありがとうございました。市のほうでも十分ではないですが少しずつニュースポーツの用具や備品を揃えて少しずつ普及をしていこうということで、スポーツ推進委員の皆さんにもご協力いただきながらルールを覚えていただいております、そして普及に努めていただいているということは、これまでもずっと続けてきたところでございます。ただ、いま高橋委員が仰ったように、こんなスポーツなんだよっていうのを紹介するような、露出を高めていくというのは一つのアイデアだと思いますので参考にさせていただきたいと思っています。

(似内利正会長)

ありがとうございます。その他、ございましたら。

(佐藤智明委員)

せっかくの場なので、うちの孫のことで申し上げます。去年、巨人に一位で指名されて去年肩を手術しまして、大谷と同じ手術をしてようやく今投げて来年にはというところであります。堀田賢慎の祖父でございます。まず、生涯スポーツでは花巻グランドゴルフというのがありまして、平成7年に結成して26年になります。現在289名の会員がいます。この289名は岩手県で一番多い協会になっていますし、年間に大会を18回ぐらい行って交流しております。あとは、競技スポーツのほうでは、花巻早起き野球協会にも携わっております、昭和41年に結成したときは6チームでしたが、最盛期の時は昭和60年の時に73チームありました。現在11チーム241名の登録で早起き野球となっておりまして、11チームが交流を深めております。今日老人クラブの会長は見えませんが、明日も予定しておりますので、輪投げとかシャトルボールの各地区の大会も行って交流しておりますので、紹介をしておきたいと思っております。最後に、早起きマラソンは今年もコロナで市の方は中止となりましたが、私がある高木団地では365日、多いときは子供たちも入るので50人から60人になるんですが、今回は子供たちは入ってませんが、今現在も20人から30人でラジオ体操と早起きマラソンを中心にやっております。健康のためと安否確認と、こういう理由でもあります。苦勞してるのは開催会場の拡大がなかなか進まないということで、一応早起きマラソンも45年も継続しており、これも大事な取り組みと考えておりますので、そういう取り組みをしているということをご紹介して、現状だけでございますが一応紹介しておきたいと思っております。

(似内利正会長)

はい、ありがとうございました。お孫さんのことも含めながら、ありがとうございました。よくよく名前を覚えておいてください。それではそろそろ時間のこともありますので第4章のほうに移ってよろしいですか。

それでは第4章についてご質問ご意見をお伺いします。

(意見なし)

(似内利正会長)

特になしということよろしいですか。

はい、それでは第5章計画の推進についてお伺いします。

(意見なし)

(似内利正会長)

はい、それでは、その他全体的なことについてご質問ご意見がございましたらお伺いします。

(意見なし)

(似内利正会長)

ご質問ご意見がなければ、本日の審議を終了いたします。

(菅史課長補佐)

似内会長、審議の進行ありがとうございました。

4のその他でございますが、皆様から何かございますでしょうか。

(特になし)

(菅史課長補佐)

それでは、今後のスケジュールにつきまして事務局からご説明いたします。

(鈴木直明課長)

まずはご審議大変ありがとうございました。私の方から今後のスケジュールにつきましてご説明させていただきます。来月の12月1日から24日まで、本日の審議会でもいただいた意見あるいはご提案等を反映させた素案をもとに、パブリックコメントを実施いたします。その後パブリックコメントの意見集約を進めまして、それを反映させた素案について教育委員会からの意見を聴取した後に、第2回の審議会を来年2月に開催する予定でございます。そこで、ご異論がなければ答申をいただくということで考えておりますのでよろしくお願ひしたいと思っております。以上でございます。

(菅史課長補佐)

長時間にわたり、皆様には大変ありがとうございました。これをもちまして令和3年度第1回スポーツ推進審議会を閉会させていただきます。大変お疲れさまでした。